

第四期『家具職人育成講習会』募集要項

150年前、横浜港の開港と同時に多くの西洋人が横浜に訪れ持ち込んだ西洋家具を家具職人や馬具職人が修理し、日本の技術で西洋の家具を同じように作り始めたことが横浜元町家具の始まりです。世界最高の日本の木工技術を使ってその時代にあったデザイン、そして修復を前提とした家具を作っていく姿勢が横浜元町家具の特徴です。『横浜山手の7西洋館・横浜開港記念館』などの家具製作に携わった職人が2人だけとなってしまい、また市内外で使われている家具の修復をしていくためにも技術の継承は不可欠です。今回は横浜元町家具の作り方にのっとった基本技術講習です。

家具を作るための技能を持っているだけでは「職人」という言葉は当てはまりません。技能とスピードが必要です。

「高速のスピードの中において使える技能」こそが本物の技術です。それを修得するためには正しい基本技術の知識と練習しかありません。

この講習ではその基本技術を身につけていただきます。

- 1 目的** 「横浜元町家具」に代表される無垢材を使った手づくり家具は、その後の補修のためにも「技能の継承」が必要です。家具職人になるための基礎・基本コースとして、道具の手入れ、使い方をマスターし、家具の部品を作るところまでを目指します。
- 2 主催** (有)蓮華草元町工房
- 3 後援** 横浜市経済局
- 4 日時** 平成23年6月4日(土)～平成23年8月27日(土)の
毎土曜日
午前10時30分～午後17時30分
- 5 会場** (有)蓮華草元町工房内
横浜市中区新山下3-3-18
みなとみらい線 元町中華街駅 5番出口より徒歩15分
- 6 応募資格** 次に該当する人で年齢、性別は問いません。
(1) 将来家具職人を志している人(学生でも可、経験の有無問わず)
(2) 現在、木工関係の仕事に従事しており、無垢材加工の技術を身に付けたい人
※無垢材による本格的な家具作りを目指している人に限ります。
当初 自宅にて刃研ぎの練習時間がとれる方。
- 7 募集人数** 10名程度
- 8 応募手続** まず応募希望者は蓮華草元町工房山手ショールームに電話もしくはメールで面接日を決定していただきます。申込書は記載の上面接時に提出してください。
面接期間は4月1日(金)～5月23日(月)(火・水曜日を除く)
(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 9 選考方法** 面接によって行います。

- 10 受講料 入学金：不要
受講料：各段階ごとに48,000円。（三段階合計144,000円）各段階の初日に徴収いたします。（材料費込み）
道具代：既にお持ちの方は必要ありません。お持ちでない方は、その都度揃えていただきます。

11 講習内容

第一段階 『道具づくり』 全4回
6月 4日・11日・18日・25日（各土曜日）
主に刃物の研ぎ方やカンナを仕込んで思うようなカンナ屑が出せるようにします。
第二段階 『治具（jig）づくり』 全4回
7月 2日・9日・16日・23日（各土曜日）
あて板、木口台、木矩等の製作、その他の手道具の使い方を学びます。
第三段階 『道具、治具を使い家具の部品（抽斗、戸框等）を作る』 全4回
7月30日・8月 6日・20日・27日（各土曜日）
習得した道具、治具を使い実際に家具の部品を作ります。

11 講習の特徴

約3か月で家具づくりの基本を学んでいただきますが、大きい家具も難易度の高い家具も基本の組み合わせ、積み重ねに過ぎません。

ですから、ベースとなる正しい基本を身に付けることが大切です。

講習中に受講生の方に自社の作品の一部を加工させたり、受講生の作品を販売することはございません。自分で作った物は各自で持ち帰っていただきます。

基本的に、座学は時間内には行いません。すべて実習優先です。講師は無垢材の全面カンナ仕上げの家具を一千本以上作ってきた職人です。実践に沿った内容で、かなりハードな要求が出されると思います。

また、3ヶ月間の講習終了後はテーブル・タンス・椅子の家具製作の講習がありますので希望者は継続講習ができます。

- 12 応募・問合せ先（有）蓮華草元町工房 担当：蓮尾
〒231-0862 神奈川県横浜市中区山手町26-10
tel: 045-263-6758
e-mail: message@rengeso.jp
ホームページ: <http://www.rengeso.jp/>

第四期家具職人育成講習 申込書

年 月 日現在

フリガナ 氏名	フリガナ 現住所〒
<div style="text-align: right;">男・女</div> 年 月 日生 (満 歳)	自宅電話番号 () 携帯電話番号 () メールアドレス

年	月	学歴・職歴 (最終学歴以後)

- ・ 家具職人の道を志した動機 または将来について具体的な希望など。

- ・ 木工の知識・経験はどれくらいありますか？

例1. 中学校の技術の時間くらい。 例2. ○×木工所でベニヤを中心に3年間。

- ・ 木工用道具をお持ちの方は内訳をお書きください。

- ・ 備考 (要望・質問などでもありましたら。)
